

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和7年12月

1. 対象事業	創成川処理区 合流式下水道緊急改善事業																								
2. 実施主体名称	札幌市																								
3. 計画期間	平成31年度～令和5年度（事後評価のみ） （全体計画期間 平成17年度～令和5年度） ※対策は、緊急改善事業創設前に実施されているため緊急改善計画への位置付けはなし																								
4. 対象事業の進捗状況	<p>全体計画期間内の対象事業は事後評価のみであるが、「社会資本整備総合交付金要綱（下水道事業）の運用について（令和5.4.3国水下企第110号、国水下事第42号、国水下流第34号）」に基づき、これまで実施してきた事業の進捗状況について以下に記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・創成川貯留管を整備した。</li> </ul> </li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設で改善目標を達成した。</li> </ul> </li> <li>③ きょう雑物の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然吐口なし（評価対象外）</li> </ul> </li> </ul>																								
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>全体計画期間内の対象事業は事後評価のみであり、緊急改善計画における改善目標を設定していないため、札幌市合流式下水道改善基本計画に基づく改善目標について記載する。</p> <p><b>【改善目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>→分流並み目標値：BOD放流負荷量 734t/年</li> </ul> </li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>→目標越流回数：処理区内1箇所の吐口で30回/年以下</li> </ul> </li> <li>③ きょう雑物の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>→自然吐口なし（評価対象外）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD放流負荷量</td> <td>925t/年</td> <td>734t/年</td> <td>719t/年</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>1箇所で 30回/年以下</td> <td>1箇所で 30回/年以下</td> <td>1箇所で 30回/年以下</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>対策済みの自然吐口数</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【目標達成の見通し】</b> 対策の実施により達成済</p>		評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況	① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	925t/年	734t/年	719t/年	達成	② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	1箇所で 30回/年以下	1箇所で 30回/年以下	1箇所で 30回/年以下	達成	③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	対象外	対象外	対象外	—
	評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況																				
① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	925t/年	734t/年	719t/年	達成																				
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	1箇所で 30回/年以下	1箇所で 30回/年以下	1箇所で 30回/年以下	達成																				
③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	対象外	対象外	対象外	—																				

6. 対象事業の整備効果の発現状況等	
<p>① 汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果について、BODは40mg/Lを下回っており、施行令基準をクリアしている。</li> <li>・過年度に実施した合流改善対策シミュレーション結果より必要とされた対策を実施しており、想定していた対策施設の機能が十分に発揮されていることから、汚濁負荷量の分流並みを達成している。</li> </ul> <p>② 公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場の年間越流回数について実測値で30回/年以下を達成している。</li> <li>・合流式下水道緊急改善計画に基づく対象事業はないが、シミュレーション結果においても、対策施設の機能が十分に発揮されており、30回/年以下を達成している。</li> </ul> <p>③ きょう雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然吐口なし（評価対象外）</li> </ul>	
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創成川雨水貯留管については、雪対策施設（融雪管）としても利用している。</li> </ul>
8. 今後の方針	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、継続して放流水質のモニタリングを行うことで、施設の延命化を図りながら放流水質の保全に努める。</li> </ul>

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和7年12月

1. 対象事業	伏古川処理区 合流式下水道緊急改善事業																								
2. 実施主体名称	札幌市																								
3. 計画期間	当初計画 平成17年度～平成21年度 第1回変更 平成20年度～平成24年度 第2回変更 平成22年度～平成25年度 第2期計画 平成26年度～平成30年度 (全体計画期間 平成17年度～令和5年度) ※第2期計画はきょう雑物除去施設の更新のみ																								
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について計画通りに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設で改善目標を達成した(雨水貯留管)。</li> </ul> </li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設で改善目標を達成した。</li> </ul> </li> <li>③ きょう雑物の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・きょう雑物除去施設を設置した(自然吐口5箇所)。</li> </ul> </li> </ul>																								
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p><b>【改善目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 →分流並み目標値:BOD放流負荷量 353t/年</li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 →目標越流回数：処理区内7箇所の吐口につき、それぞれ30回/年以下</li> <li>③ きょう雑物の削減 →自然吐口5箇所できょう雑物の削減</li> </ul> <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD放流負荷量</td> <td>450t/年</td> <td>353t/年</td> <td>339t/年</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>7箇所で 30回/年以下</td> <td>7箇所で 30回/年以下</td> <td>7箇所で 30回/年以下</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>対策済みの自然吐口数</td> <td>0箇所</td> <td>5箇所</td> <td>5箇所</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【目標達成の見通し】</b> 緊急改善計画に基づく対策の実施により達成済み</p>		評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況	① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	450t/年	353t/年	339t/年	達成	② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	7箇所で 30回/年以下	7箇所で 30回/年以下	7箇所で 30回/年以下	達成	③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	5箇所	5箇所	達成
	評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況																				
① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	450t/年	353t/年	339t/年	達成																				
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	7箇所で 30回/年以下	7箇所で 30回/年以下	7箇所で 30回/年以下	達成																				
③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	5箇所	5箇所	達成																				

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

① 汚濁負荷量の削減

- ・下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果について、対策実施後のBODは40mg/Lを下回っており、施行令基準をクリアしている。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく対象事業はないが、シミュレーション結果においても、対策施設の機能が十分に発揮されており、汚濁負荷量の分流並みを達成している。

② 公衆衛生上の安全確保

- ・処理場の年間放流回数について実測値で30回/年以下を達成している。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく対象事業はないが、シミュレーション結果においても、対策施設の機能が十分に発揮されており、各吐口で30回/年以下を達成している。

③ きょう雑物の削減

- ・豊平川及び伏籠川へ流出する全5箇所自然吐口に、きょう雑物除去施設を設置し、機能している。

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- ・きょう雑物の削減について、設置が可能な雨水吐においては維持管理性に優れ設置費が安価な水面制御型の装置を設置している。

8. 今後の方針

- ・整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、継続して放流水質のモニタリングを行うことで、施設の延命化を図りながら放流水質の保全に努める。

## 合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和 7 年 12 月

1. 対象事業	茨戸処理区 合流式下水道緊急改善事業																												
2. 実施主体名称	札幌市																												
3. 計画期間	平成 26 年度～平成 30 年度 (全体計画期間 平成 17 年度～令和 5 年度)																												
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について計画通りに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設で改善目標を達成した（雨水滞水池）。</li> </ul> </li> <li>② 公衆衛生上の安全確保                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・東雁来雨水ポンプ場に貯留施設を整備した。</li> </ul> </li> <li>③ きょう雑物の削減                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然吐口なし（評価対象外）</li> </ul> </li> </ul>																												
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p><b>【改善目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 →分流並み目標値:BOD 放流負荷量 572t/年</li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 →目標越流回数：処理区内 4 箇所の吐口につき、それぞれ 30 回/年以下</li> <li>③ きょう雑物の削減 →自然吐口なし（評価対象外）</li> </ul> <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 20%;">評価指標</th> <th style="width: 15%;">対策前</th> <th style="width: 15%;">改善目標</th> <th style="width: 15%;">事後評価</th> <th style="width: 20%;">達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD 放流負荷量</td> <td>653t/年</td> <td>572t/年</td> <td>542t/年</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>3 箇所で 30 回/年以下</td> <td>4 箇所で 30 回/年以下</td> <td>4 箇所で 30 回/年以下</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>対策済みの自然吐口数</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td>対象外</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【目標達成の見通し】</b> 緊急改善計画に基づく対策の実施により達成済み</p>						評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況	① 汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	653t/年	572t/年	542t/年	達成	② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	3 箇所で 30 回/年以下	4 箇所で 30 回/年以下	4 箇所で 30 回/年以下	達成	③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	対象外	対象外	対象外	—
	評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況																								
① 汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	653t/年	572t/年	542t/年	達成																								
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	3 箇所で 30 回/年以下	4 箇所で 30 回/年以下	4 箇所で 30 回/年以下	達成																								
③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	対象外	対象外	対象外	—																								

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

① 汚濁負荷量の削減

- ・下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果について、対策実施後のBODは40mg/Lを下回っており、施行令基準をクリアしている。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく対象事業はないが、シミュレーション結果においても、対策施設の機能が十分に発揮されており、汚濁負荷量の分流並みを達成している。

② 公衆衛生上の安全確保

- ・処理場の年間放流回数について実測値で30回/年以下を達成している。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく事業の実施により、シミュレーション結果においても、計画策定時に想定していた対策施設の機能が十分に発揮されており、各吐口で30回/年を達成している。

③ きょう雑物の削減

- ・自然吐口なし（評価対象外）

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- ・東雁来雨水ポンプ場の貯留施設は、当該ポンプ場の設計時に、越流回数が30回/年以下となるように貯留量を試算した上で整備を行った。

8. 今後の方針

- ・整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、継続して放流水質のモニタリングを行うことで、施設の延命化を図りながら放流水質の保全に努める。

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和7年12月

1. 対象事業	豊平川処理区 合流式下水道緊急改善事業																												
2. 実施主体名称	札幌市																												
3. 計画期間	当初計画 平成17年度～平成21年度 第1回変更 平成20年度～平成24年度 第2回変更 平成22年度～平成25年度 第3回変更 平成26年度～平成30年度 (全体計画期間 平成17年度～令和5年度)																												
4. 対象事業の進捗状況	下記の内容について計画通りに実施した。 ① 汚濁負荷量の削減 ・豊平川雨水貯留管を整備した。 ② 公衆衛生上の安全確保 ・既存施設で改善目標を達成した。 ③ きょう雑物の削減 ・きょう雑物除去施設を設置（自然吐口10箇所）した。																												
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p><b>【改善目標】</b></p> ① 汚濁負荷量の削減 →分流並み目標値:BOD放流負荷量 1,131t/年 ② 公衆衛生上の安全確保 →目標越流回数：処理区内14箇所の吐口につき、それぞれ30回/年以下 ③ きょう雑物の削減 →自然吐口10箇所できょう雑物の削減 <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD放流負荷量</td> <td>1,200t/年</td> <td>1,131t/年</td> <td>1,121t/年</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>14箇所で 30回/年以下</td> <td>14箇所で 30回/年以下</td> <td>14箇所で 30回/年以下</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>対策済みの自然吐口数</td> <td>0箇所</td> <td>10箇所</td> <td>10箇所</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【目標達成の見通し】</b>                  緊急改善計画に基づく対策の実施により達成済み</p>						評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況	① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	1,200t/年	1,131t/年	1,121t/年	達成	② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	14箇所で 30回/年以下	14箇所で 30回/年以下	14箇所で 30回/年以下	達成	③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	10箇所	10箇所	達成
	評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況																								
① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	1,200t/年	1,131t/年	1,121t/年	達成																								
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	14箇所で 30回/年以下	14箇所で 30回/年以下	14箇所で 30回/年以下	達成																								
③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	10箇所	10箇所	達成																								

## 6. 対象事業の整備効果の発現状況等

### ① 汚濁負荷量の削減

- ・下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果について、対策実施後のBODは40mg/Lを下回っており、施行令基準をクリアしている。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく事業の実施により、シミュレーション結果においても、計画策定時に想定した対策施設の機能が十分に発揮されており、汚濁負荷量の分流並みを達成している。

### ② 公衆衛生上の安全確保

- ・処理場の年間放流回数について実測値で30回/年以下を達成している。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく対象事業はないが、シミュレーション結果においても、対策施設の機能が十分に発揮されており、各吐口で30回/年以下を達成している。

### ③ きょう雑物の削減

- ・豊平川及び月寒川へ流出する全10箇所の自然吐口に、きょう雑物除去施設を設置し、機能している。

## 7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- ・きょう雑物の削減について、設置が可能な雨水吐においては維持管理性に優れ設置費が安価な水面制御型の装置を設置している。
- ・豊平川雨水貯留管については浸水対策施設としても利用している。

## 8. 今後の方針

- ・整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、継続して放流水質のモニタリングを行うことで、施設の延命化を図りながら放流水質の保全に努める。

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和7年12月

1. 対象事業	新川処理区 合流式下水道緊急改善事業																								
2. 実施主体名称	札幌市																								
3. 計画期間	当初計画 平成17年度～平成21年度 第1回変更 平成20年度～平成24年度 第2回変更 平成22年度～平成25年度 第2期計画 平成26年度～平成30年度 (全体計画期間 平成17年度～令和5年度)																								
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について計画通りに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時下水活性汚泥法を導入した。</li> </ul> </li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・分水堰高の調整を実施した（2箇所）。</li> </ul> </li> <li>③ きょう雑物の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・きょう雑物除去施設を設置した（自然吐口10箇所）。</li> </ul> </li> </ul>																								
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p><b>【改善目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚濁負荷量の削減 →分流並み目標値:BOD放流負荷量 1,432t/年</li> <li>② 公衆衛生上の安全確保 →目標越流回数：処理区内11箇所の吐口につき、それぞれ30回/年以下</li> <li>③ きょう雑物の削減 →自然吐口10箇所できょう雑物の削減</li> </ul> <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>BOD放流負荷量</td> <td>1,462t/年</td> <td>1,432t/年</td> <td>1,321t/年</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>9箇所で 30回/年以下</td> <td>11箇所で 30回/年以下</td> <td>11箇所で 30回/年以下</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>対策済みの自然吐口数</td> <td>0箇所</td> <td>10箇所</td> <td>10箇所</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【目標達成の見通し】</b> 緊急改善計画に基づく対策の実施により達成済み</p>		評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況	① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	1,462t/年	1,432t/年	1,321t/年	達成	② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	9箇所で 30回/年以下	11箇所で 30回/年以下	11箇所で 30回/年以下	達成	③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	10箇所	10箇所	達成
	評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況																				
① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	1,462t/年	1,432t/年	1,321t/年	達成																				
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	9箇所で 30回/年以下	11箇所で 30回/年以下	11箇所で 30回/年以下	達成																				
③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	10箇所	10箇所	達成																				

## 6. 対象事業の整備効果の発現状況等

### ① 汚濁負荷量の削減

- ・下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果について、対策実施後のBODは40mg/Lを下回っており、施行令基準をクリアしている。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく事業の実施により、シミュレーション結果においても、計画策定時に想定した対策施設の機能が十分に発揮されており、汚濁負荷量の分流並みを達成している。

### ② 公衆衛生上の安全確保

- ・処理場の年間放流回数について実測値で30回/年以下を達成している。
- ・合流式下水道緊急改善計画に基づく事業の実施により、シミュレーション結果においても、計画策定時に想定していた対策施設の機能が十分に発揮されており、各吐口で30回/年を達成している。

### ③ きょう雑物の削減

- ・琴似川、界川ならびに桑園新川へ流出する全10箇所の自然吐口に、きょう雑物除去施設を設置し、機能している。

## 7. 事業の効率化に関する取り組み状況

- ・きょう雑物の削減について、設置が可能な雨水吐においては維持管理性に優れ設置費が安価な水面制御型の装置を設置している。

## 8. 今後の方針

- ・整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、継続して放流水質のモニタリングを行うことで、施設の延命化を図りながら放流水質の保全に努める。

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：令和7年12月

1. 対象事業	手稲処理区 合流式下水道緊急改善事業																												
2. 実施主体名称	札幌市																												
3. 計画期間	当初計画	平成17年度～平成21年度																											
	第1回変更	平成20年度～平成24年度																											
	第2回変更	平成22年度～平成25年度																											
	第2期計画	平成26年度～平成30年度																											
	第3期計画	平成31年度～令和5年度																											
	(全体計画期間 平成17年度～令和5年度)																												
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について計画通りに実施した。</p> <p>① 汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時下水汚泥活性処理法を導入した。</li> </ul> <p>② 公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮集管の増強（1箇所）、分水堰高の調整（2箇所）を実施した。</li> </ul> <p>③ きょう雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きょう雑物除去施設を設置した（自然吐口16箇所）。</li> </ul>																												
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p><b>【改善目標】</b></p> <p>① 汚濁負荷量の削減</p> <p>→下水道法施行令目標値：雨天時平均放流水質 BOD 40mg/L 以下</p> <p>② 公衆衛生上の安全確保</p> <p>→目標越流回数：処理区内19箇所の吐口につき、それぞれ30回/年以下</p> <p>③ きょう雑物の削減</p> <p>→自然吐口16箇所できょう雑物の削減</p> <p><b>【目標に対する達成状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価指標</th> <th>対策前</th> <th>改善目標</th> <th>事後評価</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 汚濁負荷量の削減</td> <td>雨天時平均放流水質 BOD</td> <td>46mg/L</td> <td>40mg/L</td> <td>39mg/L</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>② 公衆衛生上の安全確保</td> <td>年間越流回数</td> <td>14箇所で 30回/年以下</td> <td>19箇所で 30回/年以下</td> <td>19箇所*で 30回/年以下</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>③ きょう雑物の削減</td> <td>対策済みの自然吐口数</td> <td>0箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>※進捗5箇所の内訳：遮集管の増強：1箇所、分水人孔内の堰高調整：2箇所、全体計画の見直し（人口・水量減）による対策不要箇所：2箇所</small></p> <p><b>【目標達成の見通し】</b></p> <p>緊急改善計画に基づく対策の実施により達成済み</p>						評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況	① 汚濁負荷量の削減	雨天時平均放流水質 BOD	46mg/L	40mg/L	39mg/L	達成	② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	14箇所で 30回/年以下	19箇所で 30回/年以下	19箇所*で 30回/年以下	達成	③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	16箇所	16箇所	達成
	評価指標	対策前	改善目標	事後評価	達成状況																								
① 汚濁負荷量の削減	雨天時平均放流水質 BOD	46mg/L	40mg/L	39mg/L	達成																								
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	14箇所で 30回/年以下	19箇所で 30回/年以下	19箇所*で 30回/年以下	達成																								
③ きょう雑物の削減	対策済みの自然吐口数	0箇所	16箇所	16箇所	達成																								

6. 対象事業の整備効果の発現状況等	
<p>① 汚濁負荷量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道法施行令第6条第2項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果について、対策実施後のBODは40mg/Lを下回っており、施行令基準をクリアしている。</li> <li>・合流式下水道緊急改善計画に基づく事業の実施により、シミュレーション結果においても、計画策定時に想定していた対策施設の機能が十分に発揮されており、施行基準を達成している。</li> </ul> <p>② 公衆衛生上の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場の年間放流回数について実測値で30回/年以下を達成している。</li> <li>・合流式下水道緊急改善計画に基づく事業の実施により、シミュレーション結果においても、計画策定時に想定していた対策施設の機能が十分に発揮されており、各吐口で30回/年以下を達成している。</li> </ul> <p>③ きょう雑物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琴似発寒川、中の川等へ流出する全16箇所の自然吐口に、きょう雑物除去施設を設置し、機能している。</li> </ul>	
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょう雑物の削減について、設置が可能な雨水吐きにおいては維持管理性に優れ設置費が安価な水面制御式の装置を設置している。</li> </ul>
8. 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備した施設の適正な維持管理を行うとともに、継続して放流水質のモニタリングを行うことで、施設の延命化を図りながら放流水質の保全に努める。</li> <li>・分流並みの年間汚濁負荷量の達成へ向け、施設の再構築に合わせて設備の増強を図る予定である。</li> </ul>